



バンコク便り



1. はじめに

12月上旬、日本に寒波が到来した際、バンコクの最低気温が一週間ほど20℃を下回り、肌寒い日が続きました。普段は暑いと言っている中、急に寒くなると暑さを求めてしまう自分を不思議に感じましたが、暑いことがタイらしさの一つなのかもしれません。街中はクリスマスツリーや装飾で彩られ、今年も残すところあとわずかですが、年末や正月といった感覚を持ってないのも海外にいるからこそなのかと感じております。

2. 当地ビジネス情報

(東根市トップセールス in シンガポールの開催)

11月27日～29日にかけてシンガポールでの東根市トップセールスため、土田正剛東根市長の他、関係者約15名が現地へ訪問し、東根市特産品のプロモーション試食会や現地スーパー・小売店等との商談が行なわれました。

開催された試食会は荘内銀行と同じフィデアグループのフィデア情報総研のコーディネートの下、現地の創作イタリアンレストランの日本人シェフによる同市特産品を使った料理と日本酒やフルーツワインなどが、飲食、卸売関係者等に振る舞われました。試食会に参加した皆さまも特産品を活用した料理に舌鼓を打ち、「組み合わせが面白い」、「素材の美味しさを感じる」といった感想もあり、特産品をPRする機会に繋がりました。

他にも現地スーパーや百貨店等との商談等を行いました。特に11月29日にオープンしたDon Don Donki（ドン・キホーテ）新店舗視察は、現地役員やマネージャーとの意見交換を行うなど貴重な機会となりました。現在シンガポールでは6店舗展開（2020年1月に新店舗オープン予定）とドン・キホーテの勢いと集客力には現地小売業界にとっても変革をもたらしている上、バンコクでも1店舗（2020年初旬に2店舗目がオープン予定）とシンガポールやタイでの農産品販売には欠かせない存在となってきています。

現状、ASEANの日系大手小売業がタイ・シンガポールを中心に展開する中、「東南アジアのショーケース」とも言われ、タイとはまた異なる特色を持つシンガポール市場は、バンコクからのアクセスも容易であり、海外販路拡大のきっかけとして、現地での展開を検討される際は、下記、荘内銀行地方創生部までご相談ください。



紹介された特産品の一部



オープン初日のドン・キホーテの様子

3. 現地トピックス

(空港近くの新スポット Central Village)

今年8月末、タイの新スポット Central Village（セントラルヴィレッジ）がオープンしました。インターナショナル高級アウトレットモールとして、ファッション、家庭用品、フードコート等、約130店舗入居し、有名ブランドが30%～70%程の割引価格で購入できることが魅力です。また当モールはスワンナプーム国際空港から車で約10分とすぐ上空を飛行機が飛ぶ程の距離にあり、テナントのスーパーではお土産用のお菓子なども手に入れることができるため、タイ旅行者にとっても帰国便に乗る前の買い物場所として非常に便利な施設だと思います。バンコク市内からは少し離れていますが、セントラルワールド（伊勢丹が入居する商業施設）等からの無料シャトルバスサービスもあり、旅行者・タイ在住者に関わらず魅力的なスポットとなっているため、訪タイの際はぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



モール上空を飛ぶ飛行機

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・高橋・楨 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）